

水野けんいち レポート

〈Vol.41〉

発行所/佐倉市王子台1-14-4

TEL. 043-463-2400

FAX. 043-463-0475

E-mail:office@mizunokenichi.com

KENICHI MIZUNO REPORT

3～5歳児の幼児教育は すべて無償化を

少子化対策のためにも国が
率先して経済支援すべき

子育て支援策をどう考えるか水野賢一衆議院議員に聞いた

Q1 少子化が進み人口が減少することが心配されていますね。

水野 日本の人口は1967年に1億人を突破し、その後1億2千万人にまで達しましたが、2005年には初の自然減となりました。

このままいくと2055年には8993万人にまで減ってしまうと推計されています。しかも単に人口が減るだけではなく、少子高齢化によって人口ピラミッドの形も崩れていきます。

こうなると年金・医療が立ち行かなくなるだけでなく経済的活力も失ってしまいます。

過去の日本の人口

縄文中期	26万人
弥生時代	59万人
800年	551万人
1600年	1,227万人
1721年	3,129万人
1868年	3,402万人
1920年	5,547万人
1945年	7,215万人
1965年	9,828万人
2005年	12,777万人

近代以前の人口は鬼頭宏『人口から読む日本の歴史』などによる推計値。1920年以降は国勢調査が行なわれている。

各国の人口比較

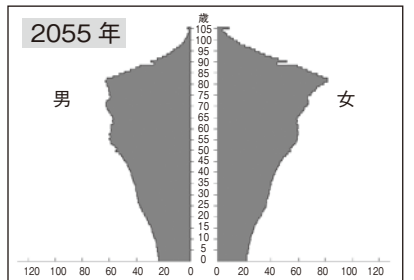
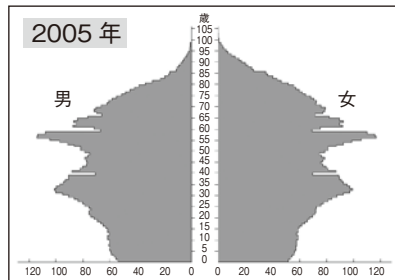
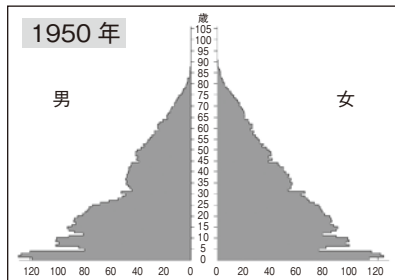
日本の人口順位は2005年は10位。2050年はフィリピン、ベトナムなどにも抜かれ16位と予想されている。

■1950年 (万人)		■2005年 (万人)	
① 中国	55,476	① 中国	131,297
② インド	37,185	② インド	113,440
③ 米国	15,781	③ 米国	29,984
④ ロシア	10,270	④ インドネシア	22,606
⑤ 日本	8,362	⑤ ブラジル	18,683

■2050年 (万人)		※2050年は「国連世界人口の見通し」による中位推計
① インド	165,827	※1950年はソ連が存在したが、ソ連のうち現ロシア領の人口
② 中国	140,884	
③ 米国	40,241	
④ インドネシア	29,688	
⑤ パキスタン	29,220	

人口ピラミッド

人口ピラミッドとは男女ごとに年齢別人口を表わしたグラフのこと。普通はピラミッド状の形になるが、少子高齢化が進むと次第に釣鐘型、さらには壺型になっていく。



Q2 少子化対策としては国などの経済的な支援も必要ですね。

水野 「産めよ増やせよ」と掛け声をかけただけで出生数が増えるわけではありません。安心して出産・育児ができるような環境を整備する必要があります。

とりわけ重要なのが未就学児に対する幼児教育の無償化です。現在、義務教育は無償となっていますが、それよりも幼い子供の場合、義務教育ではないということで国の財政的支援が少なく保護者にかな

りの負担が掛かります。

そこで私はすべての国公私立の幼稚園・保育所・認定こども園の教育を無償化し、保護者負担をゼロにすべきだと考えています。

他にも1972年に始まった児童手当制度は徐々に対象を広げて現在では小学校6年生までが対象となっていますが、金額についてもさらに充実させていければと思います。